

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適正なスペースを確保すると共に、音に敏感な児童やクールダウンするための部屋を用意しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			制度上必要な人員を配置すると共に、その日の児童と職員の組合せを前もって決めていますが、一層、それぞれの特性に応じた配置ができるように努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレを改装しました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員が参加できるように検討、改善を試みています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			可能な限り、保護者の要望に応えるようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員からの評価を受けています。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	◎			研修に参加できるよう人員配置を工夫しています。福祉分野に限らず専門分野にも研修に行き、昨年度は海外研修を実施しました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			保護者と少しでも会話の機会を増やすためにこども食堂を開いたり情報交換を行ったりして計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個人の特性をアセスメントツールをもとに把握するようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	◎			日々、スタッフ間話して意見交換をしたり、月1回事例研究会を開催したりしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎			適宜、ワークショップなどを積極的に行えるよう、スタッフで検討し、実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			事前に打ち合わせをして状況に合わせた課題の検討や支援方法を決めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			アート活動と社会福祉の視点で必要に応じて個別活動と集団活動の計画を立てています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず事前に打ち合わせをしていますが、より充実した打ち合わせとなるよう、時間の設定など改善に努めます。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了後にミーティングを行い、書面に記録を残したりやホワイトボードに翌日のスタッフへの伝言を残しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動内容やその日の様子などの記録をのこしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎		ミーティングを実施して日々の様子や支援内容を検討し、計画に反映させています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	種々組み合わせ合わせて実施していますが、ガイドラインについてスタッフ内での一層の周知を課題として取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必ず子どもの状況を良く把握しているスタッフに参加してもらっています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校、保護者によっては情報共有が不十分な面が見られる場合があるので、今後、一層の改善に取り組んでいきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	事前に体制を整えるようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		利用者によって差異があるため、工夫して改善に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	利用者によって差異が見られるので、改善していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		今後、さらに機会を増やせるように努めて行きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		プレーパークへの参加や子ども食堂など交流の場をつくっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		こども部会等へ参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	送迎時など、短い時間でも出来るだけ話すようにし、また必要に応じて電話連絡、面談などを行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		子育て相談会を適時に開催しています。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に実施しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎		子育て相談など個別に対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	遠足など行事には、保護者の参加を呼び掛けていますが、保護者のみの交流する機会が少ないので、今後、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		タイミングも考えながらできるだけ速やかに対応するように心掛けています。各部屋にカメラを設置して様子を記録しています。

責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎		月刊誌を発行し、情報発信をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護についてスタッフに周知し、セキュリティ管理を定期的に見直しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		情報が一方的にならないように心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の他事業所との交流、作品展示などをおこなっています。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		さらに工夫が必要とされる面があるので、努力していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		一層、工夫して実施できるよう取り組んでいきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修機会の増加を望む声があるので、さらなる機会の確保に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		やむを得ない身体拘束についての方針の改善・検討に関しては、支援計画の見直し時期に随時行う予定にしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師からの指示に従っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎		定期ミーティングで必ず報告をするようにしています。